

# 北陸農政局管内の土地改良団体における女性活躍事例

こまつとうぶ

## 小松東部土地改良区

たむら

田村

あけみ

明美さん

### 小松東部土地改良区 理事

- ・令和5年3月、小松東部土地改良区の理事に就任。現在1期目（2年目）。
- ・定年まで勤めた民間会社に現在も再任用で勤務。
- ・父親が個人農業経営者（水稻、葉牡丹）で、24年にわたり土地改良区の役員を歴任（理事、副理事長、総括監事）。令和4年度に父から経営移譲。



### ○理事就任の経緯は？

父から組合員資格を引き継いだ際、林副理事長から理事就任のお話がありました。私自身は民間会社に勤めており農業に深く携わってきたわけではありません。会社員との両立に不安もありましたが、自分にもできることがあればという思いでお引き受けしました。

### ○理事のお仕事の内容は？

総務会計委員として、総代会の受付など主に事務局のサポート的な仕事をしています。当改良区では、21世紀土地改良区創造運動の一環として地元高校生と連携した用水路の清掃ボランティア活動を実施しており、そこに参加して花苗の植栽などの環境整備も行っています。理事として自分にできそうなことは率先してやりたいと思っています。

### ○理事になって感じたことは？

長年土地改良区の役員をしてきた父の姿を見てきていたものの、その業務内容までは知りませんでした。最初は理事会の内容も全く理解できませんでしたが、他の理事に聞いたり研修会に参加したりするなど勉強を重ね、少しずつ理解できるようになりました。当改良区の事務長は女性で他にも女性職員がいるため、質問や相談がしやすく助かっています。

年4回の理事会は会社の休暇を取って出席しています。自分のように仕事（本業）を持っている理事が他にも多くいて、両立できるよう事務局が早めに日程調整をしてくれます。

### ○今後やってみたいことは？

理事になって、農業用水が果たす役割や土地改良区の地域での役割について、自分の中である程度理解できるようになりました。私の周りには土地改良区のことを知っている人は少ないので、自分が少しでも多くの人に土地改良区について伝えることが、土地改良区のPRにもなるのではないかと思っています。

#### 【小松東部土地改良区】

所在地：石川県小松市  
地区面積：286ha  
組合員数：651名  
理事数：15人（うち女性1人）  
監事数：4人（うち女性0人）  
職員数：3人（うち女性2人）



(R6.7作成)

## 林副理事長、宮崎事務長にもお話を伺いました

### ○宮崎事務長

#### 「事務局にとっても女性理事は相談しやすく心強い」

当土地改良区では、組合員のほうが運営に上手く溶け込めるのではないかと考え、員外ではなく員内での登用となりました。田村理事が、農業用水や改良区の役割について感じたことを日常的に周囲に伝えておられるのも、農業者だったお父さんの背中を長年見て来られたからこそだと思います。

事務局としても、女性理事がいることで、理事との距離感が縮まった感じがして相談がしやすく、心強く感じています。



(中央) 田村理事  
(左) 宮崎事務長 (右) 林副理事長

### ○林副理事長

#### 「今後の土地改良区の運営のためには女性登用が必要」

女性理事登用は、時代、世の中の流れです。男性でも役員や総代のなり手が減ってきている現状を鑑みると、女性登用を進めていかないと、今後、土地改良区の運営は立ちゆかなくなります。

役員だけでなく職員にも女性の登用が必要です。当改良区では、定年退職を間近に控えた女性事務長の後進の育成が急務だと考えています。

また、女性に限らず初めて理事になる人は、役が務まるか不安を抱えています。私もそうでした。不安解消のためには就任後のフォローが不可欠だと思います。